

平成31年度

事業名	英語教育推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	187

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	1,405	報償金			65
国補助		消耗品費			34
府補助		その他保険料			8
市債		使用料及び賃借料			36
その他		その他負担金			1,262
合計	1,405				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	2020年度から実施される小学校英語の教科化に向け、小学校を中心とした小・中学校の英語教育の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・大東市英語教育推進研修(年5回)を開催 ・Daito English Trial(英検受験助成) ・「DREAM」を全小学校で実施 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・Daito English Trial(H29～) ・「DREAM」市内4小学校で実施(H29) ・「DREAM」全小学校で実施(H30) ・Daito English Trial 2級まで拡大(H30) ・新学習指導要領実施 英語教科化(2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・AET ミーティング開催(4月)※年10回予定 ・大東市英語教育推進研修(6月)※年5回予定 ・Daito English Trial(6月～11月) ・小・中学校への授業参観(10月～12月) ・英語教育実施状況調査(12月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
	中学3年修了時の英検3級取得率	KPI	H32 20%
	児童の英語授業に対する肯定的回答の割合	独自	H32 80%
	人権行政の視点	子どもたちの国際理解教育を深める機会の拡充と、コミュニケーション能力の向上	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の機会充実 ・英語教育の内容充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒の英語でのコミュニケーション能力を育成するため ・中学生の英語学習への意欲向上 	

平成31年度

事業名	不登校支援・相談事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	187

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	10,237	報償金	9,820
	国補助		消耗品費	46
	府補助		通信運搬費(費用)	292
	市債		手数料(費用)	1
	その他		その他保険料	75
	合計	10,237	使用料及び賃借料	3

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	不登校児童生徒への支援、未然防止の取組み及び学校生活や家庭生活で様々な悩みを抱える生徒、保護者に対する相談体制の充実	①不登校指導員の学校派遣 ②適応指導教室「ボイス」の開室、運営 ③教育相談の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・長期欠席・不登校児童生徒の状況改善 ・電話、メール、来室相談の充実	①不登校指導員派遣(2,240回) ②適応指導教室「ボイス」開室(170日) ③いじめ・不登校・子育て等に関する相談の受付 *ネウブランドだいたうとの連携	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	① 不登校児童・生徒のうち状況の改善が図られたもの ② 相談件数に対する対応率	独自	H32
人権行政の視点		学校以外にも相談できる機会が日常的にあることは、子どもの安心・安全な生活を守るためにも重要である	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・学校だけでの対処が難しくなっている課題への対応 ・市のセーフティネットとしての役割	・様々なツールや方法を使い、より効果的な支援を進める ・心理や福祉の専門家、関係諸機関との連携

平成31年度

事業名	特別支援教育充実事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	187

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	8,367		報償金	8,245
	国補助			消耗品費	40
	府補助			その他保険料	82
	市債				
	その他				
	合計	8,367			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	基礎的環境整備と合理的配慮の質の向上を図り、全ての児童・生徒が安心して過ごせる学校をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会の開催 ・支援教育にかかる研修会や学習会の実施 ・発達相談、巡回相談の計画的な実施 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回発達相談の計画的な実施 ・小中学校への支援員の派遣 ・通級指導教室の充実 ・支援教育にかかる研修会、学習会の実施 ・音楽療法の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会の開催(6,3月) ・支援教育にかかる研修会、学習会等の実施(年間9回/4,6,7,8,12月) ・音楽療法の実施(年間8回) ・通級指導教室担当者会の実施(年間10回) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	巡回発達相談の申込への年度内の対応率	独自	H35
			100%
	人権行政の視点	支援を必要とする児童・生徒とその保護者、教員への相談活動の充実を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	支援教育の質の向上	支援を必要とする児童・生徒への適切な支援の提供と教育環境を整える

平成31年度

事業名	学力向上推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	187

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	12,023	報償金 消耗品費 その他保険料 事務業務委託料 使用料及び賃借料	2,936	
	国補助	1,301		461	
	府補助			9	
	市債			11,938	
	その他	2,745		725	
	合計	16,069			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	平成19年度からの全国学力・学習状況調査の着実な結果向上に対して、直接的・間接的施策を展開し、一層の上昇を図る	授業力向上学校支援チームの指導ノウハウを活かした学校訪問指導・大東教員スキルアップ講座等実施及び学力向上ゼミやふるさとジュニア検定等実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ開講 ・大東まなび舎中学校8校開催 ・市共通到達度確認テスト全校実施 ・大東教員スキルアップ講座開講 ・学校訪問指導実施 ・ふるさとジュニア検定実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ開講(年間40回土曜日4会場) ・大東まなび舎開催(中学校8校放課後) ・市共通到達度確認テスト全校実施(4月) ・大東教員スキルアップ講座開講(年間30回) ・学校訪問指導実施(年間最大75回) ・ふるさとジュニア検定実施(1月) 	

内容		目標		
指標	全国学力・学習状況調査標準化得点	総計	H32	100以上(全国を100とした数値)
		KPI	H32	
		独自		
	人権行政の視点	総合的教育力向上及び学習機会拡充は、学習意欲の喚起及び「生きる力」の基礎に寄与する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	大東市教育大綱における重点大綱の達成	教員の授業力向上、児童・生徒の学習機会拡充、自学自習力向上、ひいては学力向上を図り、全国学力・学習状況調査結果を向上させる

平成31年度

事業名	家庭教育支援事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部)	学校教育部	目	教育委員会総務費		
(課)	教育政策室	総計	2-2-1	予算書頁	189

予算額(千円)		予算内訳(千円)			
事業費	一般財源	15,915	非常勤職員報酬	28,124	
	国補助	15,914	報償金	1,480	
	府補助	410	費用弁償	66	
	市債		普通旅費	30	
	その他		消耗品費	750	
	合計	32,239	食糧費	150	
			印刷製本費	81	
			その他保険料	100	
			事務業務委託料	300	
			使用料及び賃借料	291	
			庁用器具購入費	867	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
家庭教育支援チームを設置し、家庭訪問、家庭教育に関する情報及び学びの場の提供等、家庭教育支援の活動を実施する		小学1年生全家庭訪問の実施(3回) 全小学校区での「いくカフェ」の実施(2回) 民間企業と連携した「いくカフェ」の開催(2回)	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
①地域協議会、基幹会議等の開催	②相談・訪問チーム員への研修・養成講座	③「いくカフェ」の企画・開催	④家庭訪問の実施
⑤全体講演会の開催		①地域協議会、基幹会議等の開催	②全小学校区での「いくカフェ」開催(2回)
		③民間企業と連携した「いくカフェ」の開催(2回)	④小学1年生全家庭訪問の実施(3回)
		⑤サポーター(チーム員)養成	⑥全体講演会の開催

内容		目標	
		総計	H32
		KPI	H32
	児童保護者と関わる(相談・訪問)	独自	H31
			3,000件
	人権行政の視点	保護者が安心して子育てや家庭教育を行えるように支援することで子どもたちの健全な育成を推進する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	①教育環境の充実	①小学1年生全家庭訪問の実施(3回)
		②家庭教育力の向上	②全小学校区「いくカフェ」開催(2回)
			③民間企業と連携した「いくカフェ」の開催(2回)

平成31年度

事業名	教育研究推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	189

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,313	報償金	2,523	
	国補助		消耗品費	329	
	府補助		手数料(費用)	120	
	市債		使用料及び賃借料	341	
	その他				
	合計	3,313			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	【新】大東市教育ビジョンに基づく、全市的な授業改善・授業研究の推進及び学校教育活動の一層の充実	【新】大東市教育ビジョンに基づく取組初年度として、「質」を追究した全市的授業改善研修等実施。フォーラム及び道徳研修開催及び小中連携推進	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修開催 ・全校授業改善研究会開催 ・市教育研究フォーラム開催 ・教育委員会だより「えがお大東っ子」発行 ・教育資料、研究図書収集・設置 ・道徳研修、小中連携推進の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修開催(5～10月7回) ・授業改善研究会開催(5～2月各校3回以上) ・市教育研究フォーラム開催(8月2部制で実施) ・「えがお大東っ子」発行(年間5回) ・新学習指導要領移行期間に係る研究図書設置 ・道徳研修(年間2回)小中連携研修(年1回以上) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	授業改善を伴う校内研修を実施 全校(小12校・中8校)	独自	H31 6回以上実施(小12校・中8校)
	人権行政の視点	全校教職員が研究成果と課題を共有することで、児童生徒の豊かな教育活動に資する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	【新】大東市教育ビジョンの着実な実施	児童生徒の確かな学力向上に向けた、教員の授業力及び指導力の質的向上と授業改善

平成31年度

事業名	学校支援事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	189

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	15,171	非常勤職員報酬	3,336
	国補助		臨時職員給	2,369
	府補助		報償金	9,050
	市債		費用弁償	56
	その他		その他保険料	360
	合計	15,171		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	各小中学校において、地域等の人材の計画的な支援により、学校の教育力の活性化を図る	学校施行規則一部改正により「部活動指導員」が位置付けられたことにより部活動指導員の活用を進める	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	各校からの申請および活用計画に基づき、授業・クラブ・部活動、授業力向上や管理職への総合的な支援に、支援人材を派遣する ・事務支援サポーター活用(H30～) ・部活動指導員活用(H31～)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ実施要項を通知 計画の提出(4月) ・部活動指導員への研修(5月)※年2回計画 ・各校で支援員の活用(5月～3月) ・実施状況の中間確認(10月) ・実施報告の提出(3月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	市内全校において、外部人材による指導・支援を受ける	独自	H31 100%
	人権行政の視点	外部からの指導・支援を得ることで地域と連携をした教育の推進を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・学力や学校力の総合的な向上 ・学校教育の活性化	・各校の教育課題と教育ニーズに応える

平成31年度

事業名	言語活動推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-1	予算書頁	189

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	7,890	臨時職員給 報償金 消耗品費 手数料(費用) 使用料及び賃借料	7,584	
	国補助			50	
	府補助			84	
	市債			78	
	その他	4		98	
	合計	7,894			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	「確かな学力」と「言語力の育成」をめざし、言語環境のより一層の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生弁論大会の開催 ・学校図書館司書の配置 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・大東市小中学生弁論大会の開催 ・読書活動の推進と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書連絡会の実施(年間 8 回 / 4,5,6,11,12,1,2,3 月) ・学校図書館教育担当者会の実施(年間3回/6,9,2 月) ・図書館を使った調べる学習コンクールの開催 ・小中学生弁論大会の開催(11 月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	弁論大会応募者数の割合	独自	H32 100%
	人権行政の視点	ことばの力を育むことで、家族や友人、地域社会など他者とのつながりを考える	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	言語力の育成をもとに、学力向上の強化を図る	読書習慣の定着と言語力の向上を図る

平成31年度

事業名	小中一貫教育モデル校プロジェクト事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-3	予算書頁	189

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	5,176		非常勤職員報酬	5,016
	国補助			報償金	45
	府補助			費用弁償	10
	市債			消耗品費	105
	その他				
	合計	5,176			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	・小中一貫教育に関するモデル校区(北条中学校区)における実践、研究	・推進コーディネーターの配置 ・推進会議、合同研修会の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・校区として9年間を系統立てたカリキュラムの作成 ・公開研究発表会の実施による情報発信	・校区として9年間を系統立てたカリキュラムに基づいた教育課程の実施 ・アクセスプラン(小学生による中学校登校)の実施 ・公開研究発表会の実施	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	小6から中1にかけた不登校増加率	独自	H32
			2.1 倍以下
人権行政の視点		9年間の系統立てた人権教育カリキュラムの実践	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	小中一貫教育における成果と課題の抽出	大東市にとって特色ある、最適な小中一貫教育の在り方を構築する

平成31年度

事業名	総合的教育力活性化事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	中学校費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育指導費		
		総計	2-2-3	予算書頁	199

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	1,600		事務業務委託料	1,600
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,600			

内容		全体の事業計画	今年度の事業計画
		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域の連携強化 ・地域教育の活性化 ・教育コミュニティづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区地域教育協議会(すこやかネット)の活動支援
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育活動に関する事業 ・学校支援コーディネーターを核とした、学校・家庭・地域の連携を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域教育協議会事務局会議の開催 ・各地域教育協議会主催行事の開催 ・総合的教育力活性化事業全体会の開催

指標		内容	目標
			総計 H32
			KPI H32
	地域教育協議会主催行事への延べ参加人数	独自	H32 16,500人以上
	人権行政の視点	学校及び地域コミュニティの活性化を図り、世代を超えた豊かな人間関係の構築を推進する	

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
目的	教育コミュニティづくりの実施	学校、家庭、地域の連携強化と、地域教育力のさらなる向上	

平成31年度

事業名	青少年健全育成事業(野崎)	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費		
		総計	2-1-3	予算書頁	207

予算額(千円)			予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,199	報償金	838	
	国補助		費用弁償	3	
	府補助		普通旅費	11	
	市債		消耗品費	334	
	その他	211	事務業務委託料	84	
	合計	1,410	使用料及び賃借料	140	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	青少年の健全育成、人権教育の推進を目的とした事業展開	社会体験、自然体験事業及び人権教育等の各種事業の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 書道教室、自然・社会見学会、有償ボランティア事業、工作教室、料理教室、スポーツ教室、地域交流活動、お祭り・イベント、機関誌発行、学力向上ゼミ ・夏期 ふしぎ発見教室、あーとクラブ ・冬期 人権教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 各種事業企画案作成、講師選定、会場設定、材料購入等準備、調整作業 事業実施 事業終了後の検証 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業の参加率	独自	H32 90%
	人権行政の視点	児童デイサービスや教室事業を通じて、他人との協力、思いやりの心や規範意識を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	従来事業内容の見直し及び新規事業の展開	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る

平成31年度

事業名	青少年健全育成事業(北条)	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費		
		総計	2-1-3	予算書頁	207

予算額(千円)			予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,156	報償金	801	
	国補助		消耗品費	178	
	府補助		燃料費	8	
	市債		賄材料費	80	
	その他	108	使用料及び賃借料	87	
	合計	1,264	庁用器具購入費	110	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	青少年の健全育成、学習・文化・スポーツ 人権教育の推進など目的とした事業展開	文化・スポーツ等の教室活動・生涯学習・イベント及 び人権教育等の各種事業の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	学力向上ゼミ・習字・農園・ダンス・音楽・料理・工作・異文化・バドミントンなどの教室。 北条ふれ愛フェスティバルなどの地域・学校連携事業。こどもまつり&ライブなどの有償ボランティア事業。機関紙などの宣伝事業。利用者説明会などの人権啓発事業。	各種教室事業企画案作成・講師選定(4月～) 事業実施(5月～) 事業終了後の検証(随時)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業の参加率	独自	H32 90%
	人権行政の視点	自主的活動や教室事業等を通じて、協力、思いやりの心を育む。新規登録説明会で人権啓発を進める	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	事業内容の充実及び新規事業の展開	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る

平成31年度

事業名	学校通学路整備事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-3	予算書頁	189

		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,842		事務業務委託料	1,842
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,842			

		全体の事業計画	今年度の事業計画
内容		大東市内全小学校の通学路の点検を実施	通学路の点検業務を実施
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		通学路の点検業務を実施	通学路の点検業務を実施(2月)

		内容	目標		
指標			総計	H32	
			KPI	H32	
		新たに指定された通学路の整備進捗率	独自	H26	100%を維持する
		人権行政の視点	通学路を整備することにより、通学時の児童の安全を確保する		

		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
評価	目的	学校の安全対策の強化	学校通学路について安全性向上に必要な対策を講じる

平成31年度

事業名	学校施設長寿命化計画策定事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	教育総務費		
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	教育委員会総務費		
		総計	2-2-2	予算書頁	189

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源			事務業務委託料	8,343
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他	8,343			
	合計	8,343			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るため、全小中学校施設の長寿命化計画を策定	左記と同じ	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①学校施設の全体把握 ②老朽化状況の実態把握(構造躯体等) ③今後の維持・更新コストの把握 ④10年間の整備計画の策定 等 ①～④を基に学校施設長寿命化計画の策定	左記と同じ	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	学校施設長寿命化計画策定率	独自	H31 100%
	人権行政の視点	児童生徒の学習環境を整備する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 学校施設の整備	老朽化した校舎等の改造・改修を10年間で計画的に実施する	

平成31年度

事業名	放課後子ども教室推進事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	社会教育総務費		
		総計	2-1-3	予算書頁	203

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	483	報償金	1,328
	国補助		消耗品費	120
	府補助	965		
	市債			
	その他			
	合計	1,448		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	全小学校の放課後に小学校の余裕教室を活用し、地域住民の参画を得ながら子どもの安心安全な居場所づくりを実施	市内12小学校で学校に関わる地域の実情に応じて、将棋教室、学習教室等を実施。放課後児童クラブとの連携も図っていく	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	4月：各小学校へ実施内容の意向調査実施。安全管理員、コーディネーター、実施内容が決定次第、各小学校で実施。毎月末に学校長より、活動報告 2月：運営委員会実施(来年度計画等)	市内12小学校で実施(将棋教室、読み聞かせ、英語教室、学習教室等)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	教室開催日数回数	独自	H31 800回
	人権行政の視点	子どもの人権が尊重され、安全・安心な場所で感性豊かに健やかに成長できる環境づくりを図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	市内12小学校での事業の充実を図り、放課後児童クラブとの連携を図る	事業の充実に向けて、学校・放課後児童クラブとの情報共有や教室講師の紹介等の連携を行う

事業名	子どもの安全見守り事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	青少年対策費		
		総計	2-2-2	予算書頁	203

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,040	消耗品費	886
	国補助		食糧費	50
	府補助		その他保険料	104
	市債			
	その他			
	合計	1,040		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	子どもたちの登下校時に通学路を中心に、保護者・地域住民・学校が見守り活動を行うことで、不審者等から子どもたちを守る	見守り活動に必要なベスト、横断旗などの物品の支給を行う。また、四條畷警察署と連携して見守り活動の在り方研修を随時実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
内容	見守り隊の参加人数の調査	見守り活動の視察	
	見守り活動に必要な物品の意向調査	見守り活動に必要な物品の支給	
	各小学校へ物品の支給	見守り隊の研修実施	
	見守り隊への研修実施	見守り隊への感謝状の贈呈	
	活動継続者へ感謝状の贈呈(H28～5年毎)		

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	見守り活動への参加人数	独自	H31 4,200人
	人権行政の視点	青少年の健全育成のために、日常の声掛けなどを通し、豊かな心を育て、平和なまちづくりを目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	地域住民の参画により、子どもをはじめ地域全体の安全な環境づくりに効果がある	子どもたちの登下校の安全確保のため、見守り活動を支援する

事業名	文化財保護整備事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費		
		総計	4-2-1	予算書頁	209

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	3,407	臨時職員給	1,940
	国補助		報償金	40
	府補助		消耗品費	100
	市債		事務業務委託料	1,276
	その他		使用料及び賃借料	23
	合計	3,407	庁用器具購入費	28

全体の事業計画		今年度の事業計画	
多様な方法で地域文化資源の保存と活用を図り、文化財行政を推進していく		平野屋新田会所跡の市史跡指定 中垣内・野崎条里・北条西遺跡発掘出土遺物の整理・報告書の作成	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
内容	【平野屋新田会所跡】 ・市史跡指定(H31) ・保存活用計画策定(H32～33) ・整備(H34～35) 【発掘調査報告書作成】 ・野崎条里遺跡・中垣内遺跡・北条西遺跡報告書刊行(H32)	【平野屋新田会所跡】 ・市史跡指定記念講演会開催(6～8月) ・平野屋新田会所跡説明看板設置(5～6月) 【発掘調査報告書作成】 ・出土遺物整理・報告書作成(年間)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	平野屋新田会所跡の整備	独自	H35 100%
	人権行政の視点	まちの歴史を知ることによって愛着が生まれ、よりよいまちづくりに参画する意思の向上に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	本市の歴史的遺産の保存・活用・整備を行うことで、魅力あるまちづくりに資する	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく

事業名	飯盛城跡保存整備活用事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部)	生涯学習部	目	文化財保護費		
(課)	生涯学習課	総計	4-2-1	予算書頁	211

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
一般財源	6,795	臨時職員給	6,021	報償金	1,054
国補助	3,623	費用弁償	336	普通旅費	363
府補助		消耗品費	210	印刷製本費	1,320
市債		通信運搬費(費用)	123	事務業務委託料	2,145
その他	1,244	使用料及び賃借料	60	その他負担金	30
合計	11,662				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
本市の歴史的シンボルや観光資源として活用を図るため、飯盛城跡の国史跡指定と指定後の保存や整備を行う		総合調査報告書の刊行 指定について地権者への説明と同意の取得 報告会・速報展示等の開催	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
<ul style="list-style-type: none"> ・確認調査・文献史料調査・航空測量調査(H28～30) ・総合調査報告書作成(H30～31) ・地権者説明(H30～32) ・意見具申(H32) ・国史跡・管理団体指定(H33) ・保存活用計画・整備(H34以降) 		<ul style="list-style-type: none"> ・総合調査報告書作成(年間) ・専門委員会(5月) ・報告会(7月)・速報展示(6～7月) ・地権者等への説明(年間) 	

内容		目標	
	総計	H32	
	KPI	H32	
飯盛城跡の国史跡指定	独自	H33	100%
人権行政の視点	まちの文化・歴史に触れ、愛着を持つことで、支え合うまちづくりに参画する意思の向上に寄与する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
目的	国史跡指定に向け、学術的な調査を進め、成果を広く周知することで、市民の愛着を高め、定住促進に繋げる	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく	

事業名	市民文化自主事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	総合文化センター費		
		総計	4-2-2	予算書頁	211

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	8,000		その他団体補助金	8,000
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	8,000			

内容		全体の事業計画	今年度の事業計画
内容		市民が参画する自主事業として、優れた舞台芸術を市民にとって最も身近な公共ホールであるサーティホールで提供する	市民団体の代表からなる実行委員会で、事業内容や事業計画について検討し、事業を実施する。
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
	年間5～6回の公演を開催する		<ul style="list-style-type: none"> ・無料公開リハーサル「大阪交響楽団」(大ホール) ・0歳から楽しむファミリーコンサート(小ホール) ・ワインコンサート(小ホール) ・ニッセイ名作シリーズ人形劇団ひとみ座「ムーミン谷の夏まつり」(大ホール) 他

指標		内容	目標
指標			総計 H32
			KPI H32
		公演入場者数	独自 H31 3,500人
		人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する。

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
目的		多様な文化に触れる機会を提供し、芸術文化を通じて学びと交流を深める	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供する

事業名	市民文化振興事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	社会教育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	総合文化センター費		
		総計	4-2-2	予算書頁	211

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	3,302		事務業務委託料	3,302
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	3,302			

内容		全体の事業計画	今年度の事業計画
		市民が広く参加し、舞台の部、展示の部、子ども会関係の展示で構成する大東市民文化祭を総合文化センターで行う	市民文化祭の内容を企画し、舞踊、詩吟、謡曲、ダンス、コーラス他の舞台出演者と絵画、生花、写真、俳句、手工芸、子ども会フェスティバルのポスター他の展示物を募集し、開催する
		全体のスケジュール	今年度のスケジュール
		第64回大東市民文化祭 開催日:11月1日(金)~4日(月) 会場:大東市立総合文化センター	6月広報で出展、出演募集 参加団体からなる市民文化祭実行委員会で実施に向けて、内容等検討する。

指標		内容		目標	
		総計	H32		
		KPI	H32		
	参加者数(のべ)	独自	H31	47,000人	
	人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する			

評価		施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
目的	文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を図る	日頃生涯学習活動を行っている人たちの成果発表の場や団体交流の場を提供する	

事業名	市民体育大会委託事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	213

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	2,006		賞賜金		65
	国補助			印刷製本費		61
	府補助			事務業務委託料		1,880
	市債					
	その他					
	合計	2,006				

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民の健康増進とスポーツの普及・発展のため、体育協会に委託のもと、市民体育大会を開催	春の部11種目と秋の部8種目の競技大会と総合開会式を市民体育館等で開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	体育協会へ委託し、春と秋の2回に分け、17種目の競技大会および総合開会式を市民体育館等で開催(4月～12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・「春の部」募集(4月) ・総合開会式(5月) ・「春の部」開催(5月～8月) ・「秋の部」募集(9月) ・「秋の部」開催(10月～12月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 5,000人
	人権行政の視点	スポーツを振興することで、健康維持および地域コミュニティの形成を目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	市民スポーツの振興、市民の健康増進と生涯スポーツの推進を図る	競技団体に加盟していない市民を取り込み、スポーツ人口の拡大および競技力の向上を図る

事業名	スポーツ団体育成事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	213

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,512		事務業務委託料	1,512
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,512			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	体育協会加盟の17団体が年間を通じて、団体毎に「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等を開催	「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等から選択して開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・教室および講習会等のスポーツ事業、スポーツ団体育成事業および指導者養成事業(4月～3月)	・各競技連盟開催内容検討(4月) ・「スポーツデー」開催(4月～3月) ・実績報告書提出(終了後)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 3,000人
	人権行政の視点	スポーツを通じた市民交流の中で、お互いを認め合い、尊重できるよう意識の向上を図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	市民スポーツの振興、各競技連盟の育成を図る	初心者から競技者までを対象としたスポーツ教室や講習会を行い、技術向上や指導者養成や参加者同士の交流等スポーツの普及を図る

事業名	大東市ニュースポーツフェスティバル事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	215

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	125	事務業務委託料		495
	国補助	247			
	府補助	123			
	市債				
	その他				
	合計	495			

内容	全体の事業計画	今年度の事業計画
	障害者(児)スポーツのデモンストレーション、ニュースポーツの体験の2部構成のニュースポーツフェスティバルを開催	障害者(児)スポーツのデモンストレーション競技の選定と実施、ニュースポーツの体験ができる機会の提供と実施
	<p>全体のスケジュール</p> <p>毎年3月に障害福祉課と共同で誰もが参加できることを目的としたスポーツの祭典を開催する(8月～3月)</p>	<p>今年度のスケジュール</p> <p>・デモンストレーションの選定(8月) ・事業の開催(3月) ・事業報告書提出(終了後)</p>

指標	内容	目標	
		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 150人
	人権行政の視点	障害者と健常者が共にスポーツを楽しむ機会を提供することで、お互いの人権への意識を向上させる	

評価	施策レベル(マクロ的な視点)	事業レベル(ミクロ的な視点)
	目的	障害者(児)スポーツの普及、生涯スポーツの推進を図る。

事業名	市民マラソン大会事業	区分	一般会計		
		款	教育費		
		項	保健体育費		
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費		
		総計	2-1-2	予算書頁	215

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	936		報償金	80
	国補助			賞賜金	28
	府補助			消耗品費	10
	市債			印刷製本費	26
	その他	240		事務業務委託料	1,014
	合計	1,176		使用料および賃借料	18

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	小学生から高齢者まであらゆる年代の市民が参加できるようにマラソン大会を開催する	年齢・距離別に15種目で行う第45回大東市民マラソン大会を開催する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	毎年11月の第3日曜日に、15種目の競技大会を深北緑地にて開催する(6月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・深北緑地使用許可申請書提出(6月) ・委託業者契約締結(8月) ・広報活動開始(9月) ・参加者募集(9月) ・大会開催(11月) ・委託業者変更契約締結(11月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H32 800人
	人権行政の視点	地域の方とふれあうことの大切さを知り、スポーツを通じてお互いの人権を尊重しあう気持ちを育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	競技力の向上と市民の健康保持・増進を目指す	幅広い年齢層の市民が気軽に参加することができるよう事業の推進を図る